

2011年

1

月号

組合会報

〈発行所〉

埼玉県鍍金工業組合

〒331-0811

さいたま市北区吉野町2-222-7

TEL 048(666)2184

FAX 048(652)7631

〈発行人・理事長〉

仁科俊夫

〈編集人・総務委員長〉

井上宣雄

—今月号の主な内容—

新年の挨拶 理事長 仁科俊夫	2	関東甲信越静ブロック会議開催	7
公害防止管理者研修会開催	3	全国鍍金工業組合 第48回全国大会	8
視察研修旅行	5	『彩の国ビジネスアーナ2011』に出演	10
生命共済制度ご加入のご案内・FAX送信欄		排水分析の検水採水方法についてのお願い	11

139号



新年の挨拶

埼玉県鍛金工業組合 理事長 仁科 俊夫



協定(EPA)が合意されて、年明けから具体的な関税撤廃に向けて交渉に入ることで道筋がついたようである。この合意により、自動車部品等の関税は撤廃の方向で進行し、インドからは薬剤の輸入がし易くなると云われており、お互いの国に大きなメリットがあるようである。

日本の対応が遅れている環太平洋経済協定(TPP)を見たとき、第四回拡大交渉は2010年12月10日、具体的な関税撤廃に入ることで合意し、2011年11月の妥結を目指して生き残りを掛けていると

いいます。昨年は、先が見えない経済環境の中で各企業の経営者は必死の努力をして生き残りを掛けていると同時に、日本の政界は政局に向けてのみ力を傾注して動き回り混沌としているようである。例えるならば『仮免許中』とでも云つてしまえば、それで済むのだろうか。時間は待つてくれないので…。昨年10月にインドとの経済連携

戻すことができるかもしない。

TPPの参加を先送りしてきた日本政府は情報収集に向けて動き始めたようだが、拙速の感は否めず交渉そのものに取り残される可能性も出てきているようだ。もし

これに乗り遅れてしまった場合には、今までさえ韓国等に差をつけられた輸出産業はますます不利な立場になり、逆に上手く協調できれば日本企業の海外移転の圧力を和らげられる効果もあるだろう。

残念ながら参加の決断は6月に農業対策をまとめてから行動を開始するとのことだが、落としどころは簡単には見つけられないだろう。

今後は交渉を加速するようである。さらに、参加国は、企業活動を支援するために各国の規制の調和を図る事でも合意したようだ。日本もこれに参加することで、完全に出遅れてしまつた自由貿易協定(FTA)のハンデを一気に取り

ても仕方の無いような農地への優遇税制、減反の最大の罪は創意工夫と大規模化で自立を図るいわゆる主業農家の足を引っ張ってきたことであり、結果としてなりやすい削ぐ結果となつてゐるのが現状である。これらは将来起ころうう食料不安とは別の問題であり、それらにはしっかりと対処した総合的な処方箋を作つておく必要がある。そんな状況だからこそ、我々もしつかりとパラドックスに注视していかなければならぬだろう。

兎年の本年は大政奉還(慶應3年)にあやかり政治主導の元で政官財が『癪着した体質』から脱却して『手を携え協調』への大転換を

ために行つてきた農業改革を見直す良い機会ではないだろうか。選ねることを期待したいと思いま

『公害防止管理者 研修会を開催』



して仁科俊夫 理事長より次のよう挨拶がありました。

「本日は公害防止管理者研修会に大勢のご出席を頂きありがとうございます。御座います。

昨今の情勢ではありますが大変

不透明な状況で厳しい状況が続いております。中でも自動車関連の状況は皆さんも大変関心の高い所

だと思います。先日ある会合で愛

知の自動車状況を聞く機会があ

り、1月～9月までのトヨタ自動

車の状況はエコカー補助金の影

響もあり、徐々に増えていたもの

の、9月以降は補助金打ち切りの

影響があつた事もあり、予想では

止管理を対象とした研修会を開催しました。

はじめに、石下一明環境委員長

の司会で始まり、今井昭雄副理事長の開会の辞に続き主催者を代表

た。現在、九州地方がとても元気があるそうです。それは何故かとい

うと、福岡県の麻生知事が3年前から産学官が一体となつた取組に力を入れていて、その一つとしてトヨタ自動車関連の仕事を九州に集約する働きかけを行つた事により、九州の一部なのですが、リーマンショック前の状況と同じ120%推移で仕事が動いているとの話を聞きました。

一部この様な活気のある話が聞けた反面、国内の自動車関連は今後益々厳しい状況にあると思われます。日産のマーチは国内での生産を止め100%海外生産になります。最近では、トヨタのカローラが国内での生産を中止するとの発表がありました。以前もお話ししましたが、EV・HV自動車が今は1200台にまで落ち込むとの内容でした。しかし、同じトヨタ関連の話で凄く気になる話もありました。

たが、EV・HV自動車が今は1～2万台と少ないですが今後増えてくると思いますし、エンジン自動車もまだまだ自動車のメインとなる

車さんと二人の日本人が受賞されましたが、良い話もあります。今年ノーベル賞を根岸英一さん、鈴木章さんと二人の日本人が受賞さ

れて続くのだと思つております。厳しい状況の話ばかりではあります

が、良い話もあります。今年ノーベル賞を根岸英一さん、鈴木

うと、福岡県の麻生知事が3年前から産学官が一体となつた取組に力を入れていて、その一つとしてトヨタ自動車関連の仕事を九州に集約する働きかけを行つた事により、九州の一部なのですが、リーマンショック前の状況と同じ120%推移で仕事が動いているとの話を聞きました。

一部この様な活気のある話が聞けた反面、国内の自動車関連は今後益々厳しい状況にあると思われます。日産のマーチは国内での生産を止め100%海外生産になります。最近では、トヨタのカローラが国内での生産を中止するとの発表がありました。以前もお話ししましたが、EV・HV自動車が今は1～2万台と少ないですが今後増えてくると思いますし、エンジン自動車もまだまだ自動車のメインとなる

車さんと二人の日本人が受賞されましたが、良い話もあります。今年ノーベル賞を根岸英一さん、鈴木

うと、福岡県の麻生知事が3年前から産学官が一体となつた取組に力を入れていて、その一つとしてトヨタ自動車関連の仕事を九州に集約する働きかけを行つた事により、九州の一部なのですが、リーマンショック前の状況と同じ120%推移で仕事が動いているとの話を聞きました。

一部この様な活気のある話が聞けた反面、国内の自動車関連は今後益々厳しい状況にあると思われます。日産のマーチは国内での生産を止め100%海外生産になります。最近では、トヨタのカローラが国内での生産を中止するとの発表がありました。以前もお話ししましたが、EV・HV自動車が今は1～2万台と少ないですが今後増えてくると思いますし、エンジン自動車もまだまだ自動車のメインとなる

車さんと二人の日本人が受賞されましたが、良い話もあります。今年ノーベル賞を根岸英一さん、鈴木

平成23年1月20日



益を上げても、公害問題を重視し取り組んでいかなければ企業イメージが悪くなってしまいます。この厳しい状況では企業イメージも大変重要になつてゐると思います。

本日の講習会でしっかりと勉強して頂いて各企業に活かして頂き、企業イメージをアップさせる

と共に、埼玉県の企業が元気だとと言えるようになつて頂きたいと

祈念しております。

今年も埼玉県環境部 水環境課

主査の小ノ澤様を講師としてお招きして、勉強会を開催します。年に一度の貴重な時間でありますので、きょうの講習を企業に役立てて頂ければと思います。』と挨拶があつた。

続いて、環境部水環境課課長の金子昌一郎氏、埼玉県中小企業団体中央会連携支援部長 潮田教弘氏よりご挨拶を頂きました。

環境基準項目追加等について
・第7次総量削減について

埼玉県中小企業団体中央会 連携支援部

規制基準の設定について
③その他

今後の水環境保全に関する

検討会・今後について

第一講演

「最近の水行政について」

講師 埼玉県環境部 水環境課

主査 小ノ澤忠義氏

講演内容

①環境管理事務所の業務について

環境事務所管内説明・組織説明
②最近の水環境行政について
水質汚濁防止法改正の背景

と改正内容・暫定排水基準・
②中央会の支援策

最後に島田孝男 副理事長より閉会の辞を頂き閉講となつた。

①土壤基礎知識
②調査から対策までのながれ
③鍍金工場の土壤汚染調査・対策のケーススタディ(実例)

アンモニアストリッピング法、不連続点塩素処理法・生物学的処理法・イオン交換法

第二講演

「中小鍍金工場の土壤汚染調査・対策事例」

講師 (株)東京カンティアセット

事業本部土壤環境部

部長 笹本譲氏

講演内容

- ①土壤基礎知識
- ②調査から対策までのながれ
- ③鍍金工場の土壤汚染調査・対策のケーススタディ(実例)

第三講演

「省エネ・環境対策支援について」

①国の支援策

関東経済産業局 工エネルギー対策



『公害防止管理者再教育研修会を開催』

環境保全対策委員長

石下 一明

平成22年12月9日(木)に埼玉県鍍金工業組合事務所内の会議室において、10月に開催された公害防止管理者再教育研修会に都合で参加する事の出来なかつた事業所を対象に、再教育研修会を開催した。

当日は10月に開催された講習会のビデオ上映を行い公害防止への再認識と理解をして頂きました。当鍍金組合の公害防止管理者の環境・公害等への関心の高さと前向きな姿勢は今後とも継続して頂きたいと思つております。

来期以降も各事業所並びに関係各位のご協力のもと、年1度の教育研修に100%ご出席いただけます様、ご協力の程宜しくお願ひ致します。

視察研修旅行

株式会社 ミヤマ 燕工場(新潟県燕市)

埼玉県鍍金工業組合は、平成22年10月17日(日)～18日(月)の2日間、視察研修旅行を開催した。

初日は信州の紅葉狩り観光として有名な白根山湯釜を散策、野沢温泉にてゆっくり疲れを癒し、二

日目は組合賛助会員でもある株式会社ミヤマ 燕工場・テクニカルセンター見学の行程で開催された。

標高が高くなるにつれて周りの景色も徐々に赤や黄色の紅葉が目立ちはじめ午後1時40分白根山湯釜に到着しました。湯釜に到着した参加者はバスを降りると、息も白くなるほど寒さに身をぢぢめながら湯釜の展望台へと向かつて細い登山道を登りました。始めました。

早朝7時45分大宮ソニックスティ周辺のバス乗り場へ集合、午前8時参加者38名を乗せた観光バスは一路、白根山湯釜へ出発。

関越自動車道で群馬県吾妻郡へ、途中、八つ場ダム工事現場を通り、テレビでも話題となつた湖面3号橋の高くそびえる橋脚を眺めながら昼食場所の浅間酒造観光センターへ、昼食後一路白根山湯釜へと出発。

国道292号線志賀草津高原道路に入り曲がりくねつた志賀高原の道路をどんどん上っていくと、



細く右へ左へと曲がりながら10分程登つた辺りで振り返ると、眼下には先程登つて来た登山道に、駐車場や弓池の全景が見下ろせました。思つていたより山々の紅葉は幻想的な風景が広がっていました。いろいろと見下すもの、参加者はこの絶景にしばし足を止め楽しんでいました。

そこから更に登る事10分程で山頂の湯釜展望台へ到着。湯釜は天気の良い日であればエメラルドグリーンに輝く湖面を見る事ができるのですが、生憎の曇り空。すり鉢状の火口には緑白色の硫黄泉が満ちていて、周りには草木も生えていない風景に大自然の神秘力をを感じることが出来ました。

バスは湯釜を後にして一路宿泊先の群馬県野沢温泉郷へと向かいました。バスは午後4時30分頃、野沢温



旅館を出発、一路新潟県へと向かい、午前11時ごろ新潟県燕市にあるミヤマ株式会社 燕工場へ到着。工場長と小林 明副工場長、埼玉営業所 池田 一彦所長のお出迎えにて、燕テクノロジーセンターの会議室へ招かれた。

最初に、多野工場長よりミヤマ株式会社の事業内容並びに燕工場の施設を説明していただいた。

燕工場は、環境技術の研究機関を併設する技術開発型の中間処理施設で、有害物が溶出しない泥状物となるよう、高度な化学反応による処理技術を実用化すると共に、より安全な無害化処理、有用資源の再生・再利用の実現に取り組んでいるそうです。また工場機能としては、大量廃液の集中処理が可能な設備体制を有していて、迅速・安全・適正な処理を実現している企業との事でした。

説明の終了後、3班に別れて施設内を見学しました。

燕工場は敷地面積 $87,097\text{m}^2$ に汚泥・排酸・排アルカリ・排プラスチックなどに現在何を処理しているか

翌朝、参加者は午前9時30分に

類・鉱さい・燃え殻・金属くず・ばいじん・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類の処理施設があり、中間処理施設として稼動。また、廃棄物の組成に応じて再資源率を高めるなど、より高度な資源循環の実現に取り組んでいて、工場内での処理装置はとても巨大で我われ一企業とは比較にならない物であった。

参加者は初めに、テクノロジーセンター内の分析施設を視察。と

ても整理された室内に分析施設が

ならび、搬入された沢山の廃棄物の分析を一手に引き受けているそ

うです。次に雑排水等の処理施設

を見学、様々な排水と共にプラスチックやいろいろなゴミを手作業

で仕分けしている工程を見学。続

いて貯槽施設・一次反応処理施設

を見学、大型ローリーにより引き取

られた酸・アルカリ廃液を地下に

あるタンクへと移し、還元処理に

て処理するのですが、余りの処理

能力に参加者も驚いたようでした。施設内は安全な作業を行うた

めに廃液の受入れ口や処理装置類

明確になっており、また作業者が誤って処理槽内に落下しないような工夫がされていて、安全に徹底して取り組んでいる事が良く分かりました。

その後、屋外処理施設を見学。生物処理槽やアンモニヤ処理施設を出されるとの事でした。



見学、規模が大きい処理施設は圧巻であった。

短い時間ではありましたが、工場見学を終え参加者全員で記念撮影。ミヤマ株式会社を後にし、午後1時30分、燕三条地場産業振興センターへ到着、施設内レストラン『メッセピア』で遅い昼食を取り、バスは帰路へと向かい、午後6時30分に大宮ソニックシティに到着。無事に今回の視察研修旅行を終了した。



会議は定刻どおり開始され、群馬組合の神保理事の開会のことばの後、主催組合を代表して群馬組合の光山理事長より挨拶があつた。

「中小企業を取り巻く環境は、内需低迷が続く中、加工単価の低下と原材料の上昇、円高の進行等による先行きに対する懸念材料も多く、これまで以上に中小企業組合としての機能が重要となつている。皆様方におかれましては、非常にご苦労されていると推測しております。本日は、各県の皆様のご意見や、業界が直面している課題等を出し合つて討論していただき、実

越静ブロック会議が群馬県鍍金工業組合及び埼玉県鍍金工業組合（埼玉県からは、15名が参加）主催にて、群馬県伊香保市の「ホテル天坊」にて1都10県の工業組合から約80名の参加により開催されました。

次に、来賓として、大澤正明群馬県知事の挨拶を群馬県産業経済部工業振興課課長の高橋厚氏が代読した。続いて、全鍍連の姫野会長より挨拶があつた。

「我々ものづくり業界は、厳しい状況が続いている中、本会の情報・国際委員会の事業として、今回25年目の開催となつた日韓定期会議において、韓国の方からお伺いしたお話をすると、現在の韓国では大変景気が良く、めつき業界においても仕事が多すぎてやりきれない程だという。一方日本では、独自に開発した技術の生産拠点を次々にアジア各国へ移転してしまい、産業の空洞化により肝心の国内ものづくりは疲弊してしまった。日本はこのような状態だが、韓国では、国家戦略として経済活動を行つており、自動車でも家電でも世界的な主導権を取りつつある。先日の北海道・東北ブロック会議では、「日本からものづくりがなくなる」といった内容の講演が、また、東海・北陸ブロック会議では、「この不況の中でも、経営者の戦術と戦略を間違えなければ、必ず生き残り勝ち組になれる」と



関東甲信越静ブロック会議が開催

「我々ものづくり業界は、ついで

ら皆様と共に脱却できるか考えて
いきたい。」と述べた。

次に各工業組合より事業報告・全鍍連にたいする質問・近況報告の意見交換が行われ、全鍍連の中



で最大のブロックとなる同会議は、
厚い議論となつた。

主な意見交換としては、「売上げは7割程度回復したが、先行きは不透明である」「低価格競争が激化化しているため全鍛連の対策を望む」「大手メーカーの部品は国内調達を義務づけするような働きかけができるないか」「設備更新による体力増強は必須、そのための税制優遇策の陳情を全鍛連にお願いしたい」など多数の意見が上がった。

続いて、財団法人老年病研究所付属病院の高玉真光院長による記念講演「地域における認知症の予防」が行われ、全鍛連近藤専務理事より全鍛連報告を行った後、すべての議題を終了しプロック会議を終了した。

その後、参加者全員にて記念撮影を行った後、会場を別室に移して懇親会を開催、有意義な懇親を行つた。

「全國鍍金工業組合 第48回全國大会」

第48回全国大会宣言スローガン【絆と挑戦】
～イノベーション、確かな技術で未来を拓く～

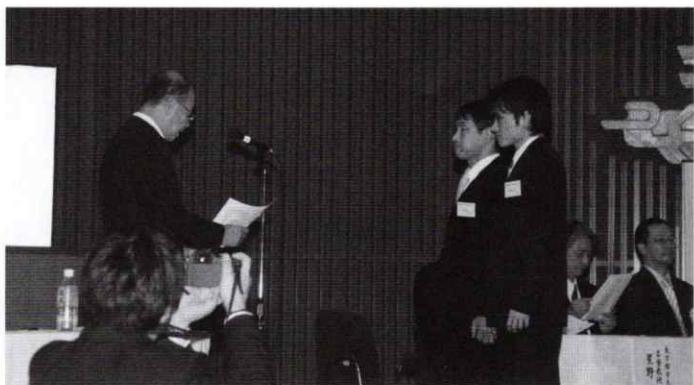


はじめに開会の辞の後、国歌斉唱、先輩・物故者の黙祷の後、主催者を代表して姫野正弘 全鍛連会長より挨拶があつた。

取引巻く環境は大変厳しい。政
治経済とともに激動を迎え、さらに
円高が今日、日本のものづくりを
直撃している。我々めつき業は一
致結束してこの厳しい時代を乗り
越えていくべく、全鍛連活動とし
て行政・政治に対し業界の実情、
実態を訴えている。環境規制等の
問題に対しても、できる事は最大
限努力し、できない事は暫定期間
をいただき、その間に技術開発を
していくと進めている。全国大
会では「糸と挑戦」というものづく
りに一番大事な事をスローガンに
掲げた。業界が一致結束してこの
難局と戦い、生き残っていくとい
う決意を新たに、全国大会を開催
する。」と述べた。

平成22年11月17日(水)東京都港区芝公園の機械振興会館において全国鍍金工業組合連合会第48回全国大会が各都道府県鍍金工業組合関係者、所管官庁及び学術団体により多数参加を得て盛大に開催された。

続いて、特別功労賞表彰では、日



組合功労役員表彰

有限会社 西武化学金属工業所

島田 孝男

全国鍍金工業組合連合会会长賞
銅賞の受賞者を代表して

有限会社 小築鍍金工業所 専務
取締役 小築 憲一 氏と酒田 恵

また、卓越した技能者表彰は光
陽鍍金株社長、菊池忠雄氏が表彰
された。

統いて議事に移り左記内容の議
案審議が行なわれた。

全国めつき技術コンクール表彰
全国鍍金工業組合連合会会长賞
銅賞【装飾クロムめつき部門】

有限会社 今井メッキ工業所
株式会社 真工社

T e a m - 3 3 9

株式会社 真工社

T e a m - 3 4 0

株式会社 真工社

T e a m - 3 4 1

全国鍍金工業組合連合会会长賞

銅賞【亜鉛めつき部門】

有限会社 池澤鍍金工業所

生産製造部 駒崎 隆行

有限会社 小築鍍金工業所

酒田 恵

有限会社 小築鍍金工業所

中島 健二

平成22年秋 国家顕彰者

Aチーム

清川 忠 氏

(理事・前技術担当副委員長)

有限会社 阪本鍍金

Bチーム



議長

第48回 全国大会
全国鍍金工業組合連合会



藍綬褒章

栗原 敏郎 氏

(副会長・神奈川県メッキ工業
組合理事長)

現代の名工(卓越技能者表彰)

菊池 忠雄 氏

(理事・東京都鍍金工業組合常
任理事) / 光陽鍍金 株式会社

代表取締役社長

本ワコン(株)監査役で社日本表面処理機材工業会参与の和田洋六氏が受賞した。

今回の全国大会で賞を受賞された埼玉県の方々は、左記のとおりです。

『彩の国ビジネスアリーナ2011』に出展

「彩の国ビジネスアリーナ

場所

さいたまスーパーアリーナ(スタジアムモード)

埼玉県さいたま市中央区新都心8番地

昭和50年代から60年代はじめ

400万円×相続人数

4

0

0

万

円

×

2

0

0

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

万

円

×

2

5

排水分析の検水採水方法についてのお願い

環境計量士 篠永 智恵子

けます様宜しくお願ひいたします。

(採水方法)

検水は専用容器に直接採水して下さい。容器にとりにくいときは、ひしゃく又は、ポリバケツに採水して頂いた後、かき混ぜながら専用容器に採水して下さい。

(検水を入れる際の注意)

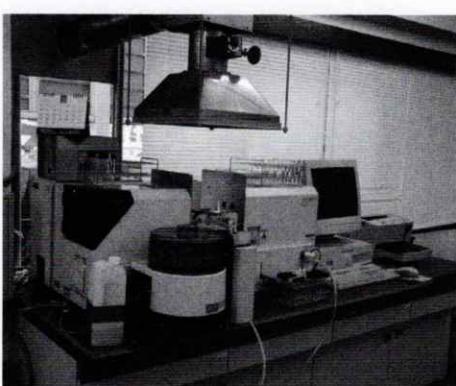
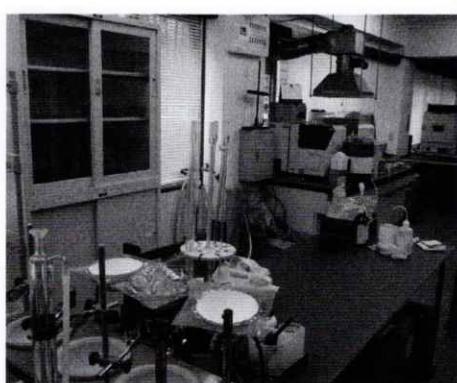
採水される際は採水する水で2~3回ゆすいだ後、中ぶたとの間に空気が残らないように満タンに採



水してキャップをしっかりと閉めてください。

(保管方法の注意)

採水後、なるべく暗所で0~10℃にて保管して頂いた状態で事務局へ届けて頂けるのが理想ですが、致します。また、以前分析の検水採取についての注意点をお知らせ致しましたが、若干間違った検体が見受けられます。今一度採水の注意点を左記にまとめさせて頂きま



* 容器洗浄せずに採水されると前回の採水した水の影響や緑藻など

が発生して正確な分析ができないことがありますので、必ずゆすいだ後、採水して下さい。

以下に組合内で分析している項目と採水量の表を掲載します。尚、別紙表の分析項目以外につきましては外注にて対応させて頂きまでの、組合事務局までお問い合わせ下さい。

各事業所様も正確な分析の値を測定する為に、右記採水方法を参考に採水後なるべく速やかに組合事務所まで提出して下さい。また、検水の温度の変化にも気をつけてください。

『組合分析項目・採水量・保管方法・分析料』

項目	採水量(容器)	保管方法	分析料金(※1)
pH	100ml	暗所 0~10°C	他の分析と一緒に無料
COD	500ml	暗所 0~10°C	2,000円
SS	1L	暗所 0~10°C	2,500円
T-N	500ml	暗所 0~10°C	3,000円
T-P	500ml	暗所 0~10°C	3,000円
CN	500ml	暗所 0~10°C	1,500円
重金属(Cr/Zn/Cu/Ni/Fe)	500ml	暗所 0~10°C	各1,500円
六価クロム	500ml	暗所 0~10°C	1,500円
F	500ml	暗所 0~10°C	2,500円
B	500ml	暗所 0~10°C	2,500円
アンモニア性窒素	500ml	暗所 0~10°C	3,000円
硝酸性窒素	500ml	暗所 0~10°C	3,000円
亜硝酸性窒素	500ml	暗所 0~10°C	3,000円
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素一括分析	500ml	暗所 0~10°C	5,000円
アンモニア化合物・硝酸・亜硝酸一括分析	500ml	暗所 0~10°C	7,500円

※1 組合加入事業所の分析価格になります。未加入の事業所は組合事務局までお問い合わせ下さい。

表紙の写真は群馬県吾妻郡草津町の『白根山湯釜』です。

白根山は那須火山帯に属する標高2160mの活火山で、1882年の噴火によってできた火口湖が湯釜と呼ばれています。直径300m、水深30m。月面のような白い岩肌の火口壁にエメラルドグリーンの湖水をたたえた神秘的な姿を、展望所から見学できます。

湖水はpH1.0と酸性度が高く、世界でもっとも酸性度が高い湖として知られています。何故酸性度が高いのかは、火山ガスに含まれる塩化水素や二酸化硫黄が水に溶け込み塩酸や硫酸となつたためと考えられています。

この噴火以前は火口付近まで緑が広がっていたそうです。

また、湯釜のすぐ側には、同様の酸性湖で水釜・涸釜があり、裏白根の噴気と共に今なお活動を続ける活火山である事を物語っています。

編集後記

白根山湯釜

群馬県吾妻郡草津町草津

交通のご案内

関越自動車道

所沢ICから渋川伊香保ICを降りて、国道353号線から国道145号線に大津方面に向かい国道292号線(草津白根道)を通り湯釜レストハウスより徒歩20分

入場無料
(注)志賀草津道路が冬季閉鎖中は見学できません。



印刷
保証企画工芸株式会社

TEL 03(3875)1641
〒110-0012
東京都台東区竜泉1-4-3

埼玉県鍛金工業組合 生命共済制度のご加入のご案内

平成22年10月1日より当組合の

【特徴】

生命共済制度は（財）全国中小企業共済財団の制度へ移管し、新たなスタートを切りました。そのス

タートにあたり多くの組合員のご協力もあり、現在順調に推移して

おります。当組合としましては、更なる制度の安定化を図りたいと

考えておりますので、まだ加入されていない方は、是非ご検討ください。今後ともご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、制度の特徴は以下のとおりとなります。ご確認ください。

※詳しくはパンフレット、または組合にご相談ください。

【制度の概要】

⑤受取人

請求者・受取人は事業主となります。

①加入資格

15才以上64歳以下の役員お

⑥申込方法

加入後は75歳まで継続できます。

②加入日

所定の申込書をご作成のうえ、組合事務局へご送付ください。

③掛金

毎月1日に加入・増口できます。

【その他、詳細の連絡先】

④無審査で加入でき、1年ごとの更新です。

⑤当組合の事業にもなつてお

ります。

1□830円（月額）

最高5□まで

〒102-0093
東京都千代田区平河町

④保障内容

一般死亡共済金
災害死亡共済金
災害障害共済金
災害入院共済金

（財）全国中小企業共済財団
電話番号
1の4の12

担当者 業務部 磯貝

03-3264-1511

《生命共済制度・FAX送信欄》

埼玉県鍍金工業組合 事務局 御中

(FAX 048-652-7631)

1. 加入したい
2. 一度説明を聞きたい
3. パンフレットが欲しい

事業所名	
住 所	〒
電話番号	
担当者名	